

どうしがやフレーザーパーク通信 2020.3.14

◇日時：2020年3月14(日) 午前10時30分～午後3時
◇天気：快晴(強風)
◇場所：豊島区立雑司が谷公園(芝生広場)
◇参加：100人程度
◇スタッフ：早川、井上(木工)、猪瀬(染色)、三橋(染色) 浜野、佐分
◇来訪者：(民生児童委員) 高野さん他3名、(豊島区社会福祉協議会) 三枝さん

◇企画：染色・木工

◇みられた遊び：工作、段ボール工作、染色

◇簡単報告：

◆強風(風速10m弱)のため、火の使用、段ボール工作は中止。染色は、染色作家の三橋さんが煮ださない方法を調べて準備していただき、実施した。

◆緊急事態宣言下の久しぶりの開催だったが、全体的に、子どもたちが非常に生き生きと楽しそうに参加していたのが印象に残った。

◆段ボールで映画館を作りたいという子どもの声から、ハッチが段ボールをPPロープで縛ってつなげ、飛ばない工夫をしながら作り始めたところ、他の子どもたちから、ペグを打つといい、屋根にかける布は穴をあけて結びつけたらいいなどと、次々アイデアが出て、風で飛ばない段ボール映画館ができ、最後は上映会をした。

◆木工では、廃材に色がついていたのが子どもたちにインスピレーションを与えていた様子。2時間くらいがんばって、家具、家電や寝具やブランコなども取り付けた、とても凝った家を作った子がいた。じっくり遊びこむ子が多かった。

◆染色では、染まった布の型を外して広げるとき、どのような模様ができただか、楽しみと驚きの表情が見られた。特に子どもが作るものには、自由で、無心な良さがあった。Tシャツを持参して楽しみにして来てくれた人も何組かいた。

◆強風でも遊べるよう、ロープを渡し、新聞紙を丸めた球や風船をゴムでロープからつるして遊ぶ遊具を作り工夫した。(ハッチのアイデア) 幼児だけでなく、大きな子どもも楽しめ、遊びのきっかけになっていた。

◇これからに向けて(公園運営協議会・公園緑地課と調整)

◆この公園の地形では、今後も時々強風が吹くことが想定される。そういう時に、穴を掘ってもいい場所・土いじりができる場所があるといい。鍋類など風に飛びにくいものを置いて、泥遊びができるとうい。

⇒公園側では、前向きに考えてもらえそう。どの場所が相応しいか、要検討。

◇TIPS

◆とげの対処法：とげぬきで抜く。抜けにくいときは、安全ピンの先を熱して消毒し、少し皮をむいて抜く。その後流水で流し(消毒液はあまり使わない)、ワセリンを塗り、絆創膏。とげぬきは使用后、消毒をして戻す。但し、今は時代も変わってきたので、トラブルを避けるためにも、保護者と来ている場合には保護者にとげぬきを託す、「救急箱ありますよ、よかったら使ってください」という方法もあり。(資生堂のアイブローニップスはとげが抜きやすいそう。)

◆想定されるケガや、救急箱の中身について、近隣の病院情報やシミュレーションなど、一度スタッフ間で話し合っておくとよい。

⇒プレバ開催日(日曜日)でも対応してくれる病院の連絡先を救急箱に張り付けた。(雑司が谷あかちゃんこどもクリニック、都立大塚病院、聖母病院)

◇注意事項：

◆木工でとげささがり、3件程度あった。とげぬき、絆創膏で対応。

◆とげぬきが紛失していたので、スタッフの私物を使った。木工をする場合はとげぬき必須。買い足す。

◆ゴムがはじけて手が赤くなったケースが1件あり。冷やして対応。

◇次回(3月28日)に向けて：◆準備するもの：とげぬき、絆創膏、段ボール

